

救命救急 医療の 現場から

命の砦
ドクターヘリ



やすまつ ひろし
◎講演：安松 比呂志 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター助教)



河合塾での浪人生活を経て、金沢大学医学部に合格。卒業後は金沢の病院で消化器外科医として勤務していたが、救命の最前線を志し、日本のドクターヘリの草分け的存在である日本医科大学千葉北総病院救命救急センターへ。救命救急は時間との闘い。一秒でも早く医師が診察することで、生存率は大きく上がる。翼を持ったER(緊急救命室)とも言われるドクターヘリで現場へ向かい、命をつなぐべく日々奮闘中!

皆さんは「ドクターヘリ」をご存知ですか。

2015年4月現在で全国37道府県に45機が配備され、今や日常の救急医療から災害医療にも欠かせなくなったドクターヘリですが、一般の方にはあまり知られていません。

ドクターヘリとは、「救急現場から医療機関に搬送する間、患者に救命医療を行うことのできる救急専用ヘリコプター」と定義されており、救急専用の医療機器を装備したヘリコプターに救急医療の専門医および看護師が同乗し、消防機関の要請により救急現場に向かいます。ドクターヘリは、従来のヘリコプターと医療との関係に見られる「患者を早く病院に搬送する」のではなく、「患者を早く診療する」ことを目的とする、つまり、医師を救急現場に派遣するためのシステム (doctor delivery system) です。

日本医科大学千葉北総病院救命救急センターは、ドクターヘリの基地病院としてドクターヘリを用いて病院到着前から治療を開始する「攻めの救急医療」を実践してきました。外科研修を経て救命救急に飛び込んだ演者が、ドクターヘリを中心に救命救急の世界を紹介します。

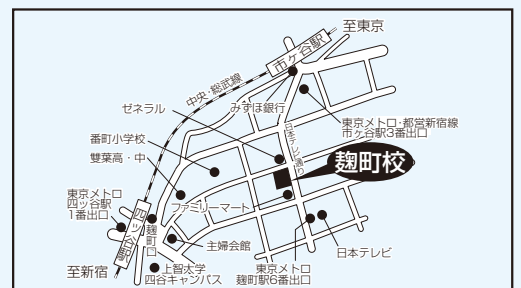
■推薦図書 「攻めの救急医療」十五分ルールをめざして 脚光をあびるドクターヘリの真実 益子邦洋 へるす出版
「救命救急フライトドクター 攻めの医療で命を救え!!」 若貞るみこ 講談社

10月9日(金) 19:00~20:40

翹町校 デルファイホール

入場無料
申込不要

〒102-0085 千代田区六番町1-3 ☎0120-192599
●JR 総武線・東京メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線 市ヶ谷駅下車 3番出口徒歩3分
●JR 中央線・総武線 四ッ谷駅下車 翹町口徒歩5分
●東京メトロ丸ノ内線・南北線 四ッ谷駅下車 1番出口徒歩6分
●東京メトロ有楽町線 翹町駅下車 6番出口徒歩2分



※どなたでも自由に参加できます。